

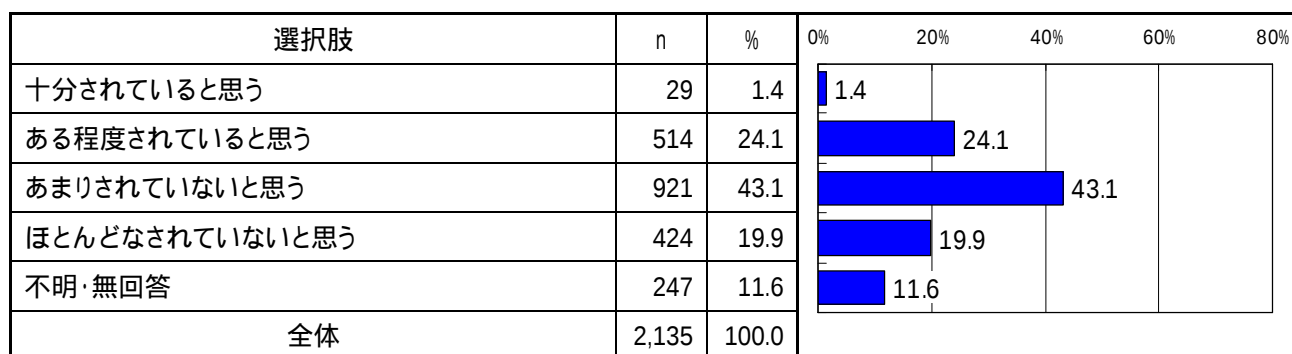
7. 公聴・参画について

(1) 障害者施策に障害のある人の意見が反映されているか (S A) 【問 44】

国

障害者施策に障害のある人の意見が反映されているかを尋ねたところ、国は「あまりされていないと思う」が 43.1%、「ある程度されていると思う」が 24.1%となっている。

年齢別にみると、「十分されていると思う」と「ある程度されていると思う」の計である“反映されていると思う”は 60 歳代以上で 30% 台、20 歳代以下では 10% 台と差がみられる。また、年齢が高くなるにつれて割合が多くなる傾向にある。



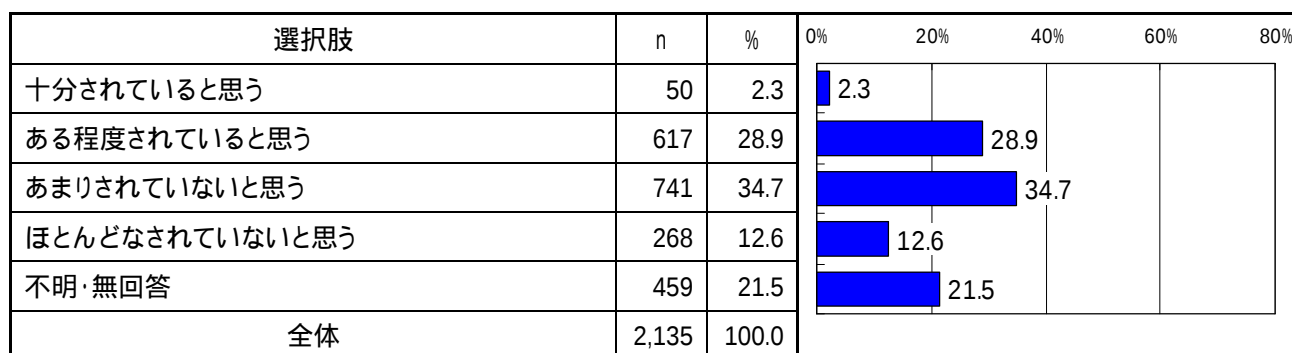
【(国) 障害者施策に障害のある人の意見が反映されているか (年齢別)】

	(n)	十分されていると思う	ある程度されていると思う	あまりされていないと思う	ほとんどなされていないと思う	不明・無回答	反映されていると思う (小計)	反映されていないと思う (小計)	不明・無回答
全体	2,135	1.4	24.1	43.1	19.9	11.6	25.4	63.0	11.6
20 歳未満	69	0.0	10.1	44.9	31.9	13.0	10.1	76.8	13.0
20 歳代	174	0.6	12.6	47.1	28.7	10.9	13.2	75.9	10.9
30 歳代	318	2.5	20.8	40.3	25.5	11.0	23.3	65.7	11.0
40 歳代	371	1.6	21.6	43.4	25.3	8.1	23.2	68.7	8.1
50 歳代	478	1.9	21.8	46.9	19.9	9.6	23.6	66.7	9.6
60 歳代	454	0.4	30.4	43.0	13.7	12.6	30.8	56.6	12.6
70 歳以上	246	1.2	37.0	36.6	7.3	17.9	38.2	43.9	17.9

住まいの市区町村

障害者施策に障害のある人の意見が反映されているかを尋ねたところ、住まいの市区町村では「あまりされていないと思う」が34.7%、「ある程度されていると思う」が28.9%となっている。

年齢別にみると、「十分されていると思う」と「ある程度されていると思う」の計である“反映されていると思う”は70歳以上で45.9%、20歳未満で13.0%と差がみられる。また、年齢が高くなるにつれて割合が多くなる傾向にある。



【(住まいの市区町村) 障害者施策に障害のある人の意見が反映されているか(年齢別)】

	(n)	十分されていると思う	ある程度されていると思う	あまりされていないと思う	ほとんどなされていないと思う	不明・無回答	反映されていると思う(小計)	反映されていないと思う(小計)	不明・無回答
全体	2,135	2.3	28.9	34.7	12.6	21.5	31.2	47.3	21.5
20歳未満	69	1.4	11.6	50.7	15.9	20.3	13.0	66.7	20.3
20歳代	174	1.7	21.8	39.7	14.9	21.8	23.6	54.6	21.8
30歳代	318	3.1	24.5	34.6	15.1	22.6	27.7	49.7	22.6
40歳代	371	3.5	23.7	35.8	19.1	17.8	27.2	55.0	17.8
50歳代	478	1.7	25.9	38.3	12.6	21.5	27.6	50.8	21.5
60歳代	454	2.0	37.0	31.5	7.9	21.6	39.0	39.4	21.6
70歳以上	246	2.4	43.5	24.8	6.5	22.8	45.9	31.3	22.8

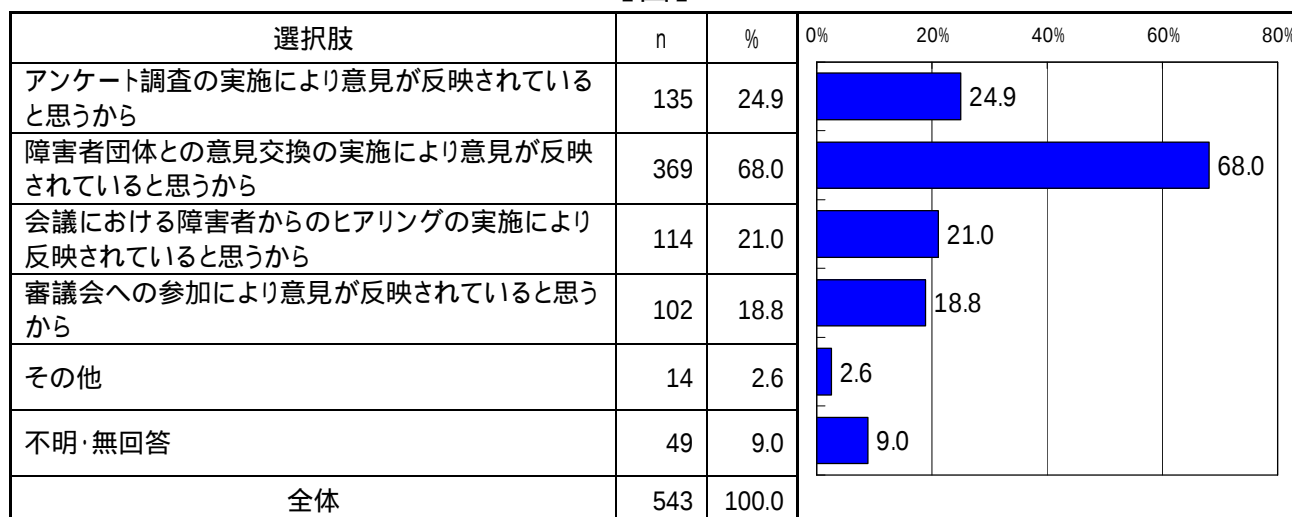
問 45、46 は、問 44 の「国」、「市区町村」の設問で、それぞれ「１．十分されていると思う」、「２．ある程度されていると思う」と答えた人。

(２) 障害のある人の意見が反映されていると思う理由 (MA) 【問 45】

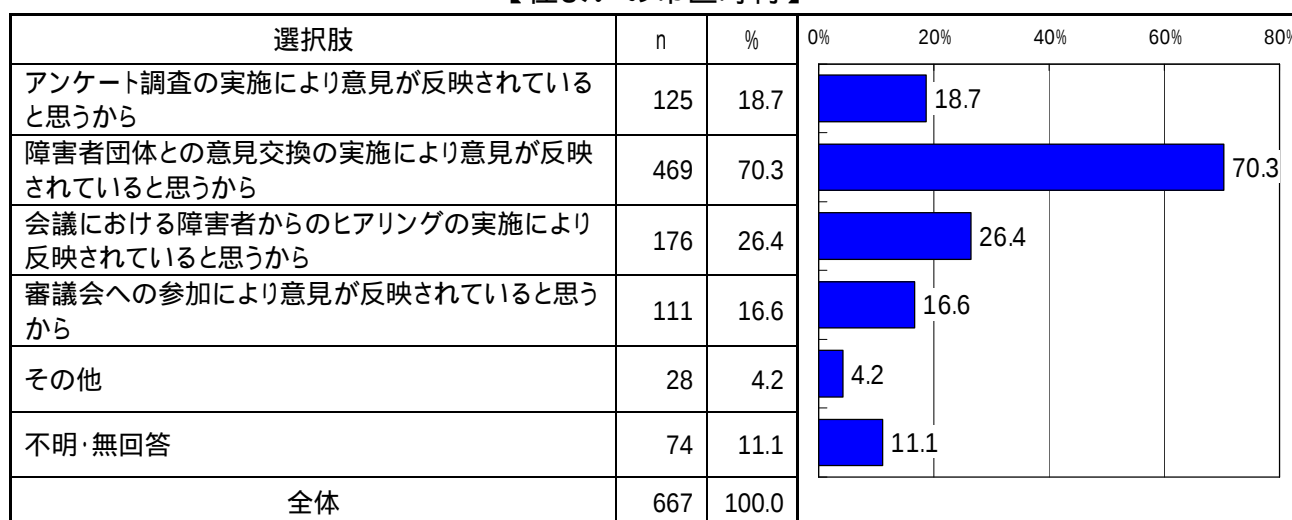
障害のある人の意見が反映されていると思う理由について、国では「障害者団体との意見交換の実施により意見が反映されていると思うから」が 68.0%で最も多く、次いで「アンケート調査の実施により意見が反映されていると思うから」が 24.9%、「会議における障害者からのヒアリングの実施により反映されていると思うから」が 21.0%となっている。

住まいの市区町村では、「障害者団体との意見交換の実施により意見が反映されていると思うから」が 70.3%で最も多く、次いで「会議における障害者からのヒアリングの実施により反映されていると思うから」が 26.4%、「アンケート調査の実施により意見が反映されていると思うから」が 18.7%となっている。

【国】



【住まいの市区町村】

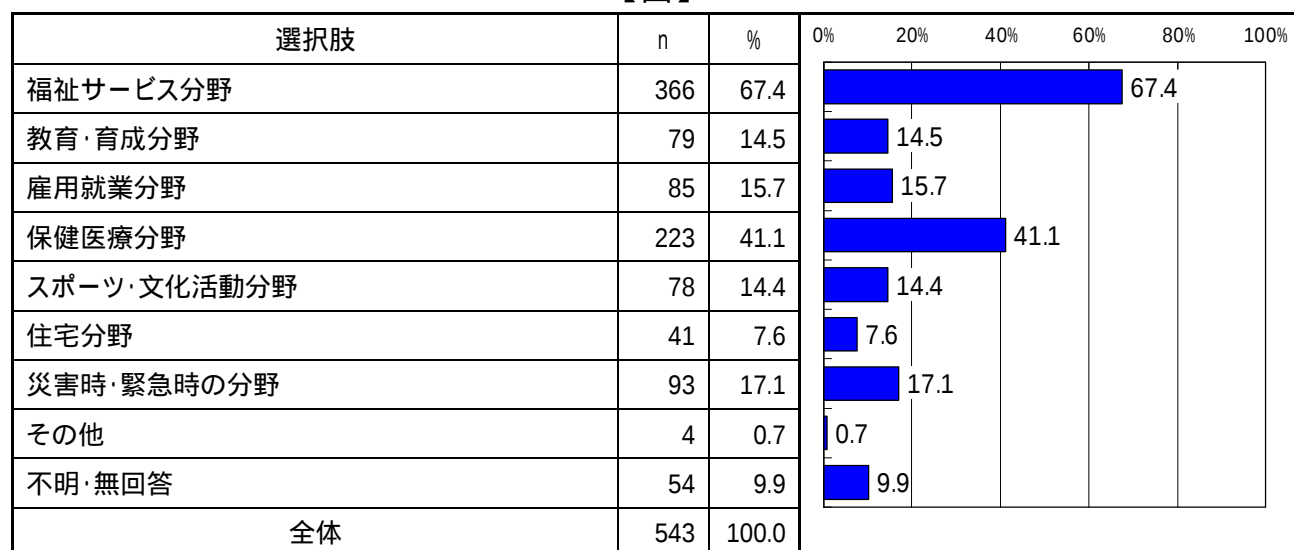


(3) 障害のある人の意見が反映されていると思う行政分野 (M A) 【問 46】

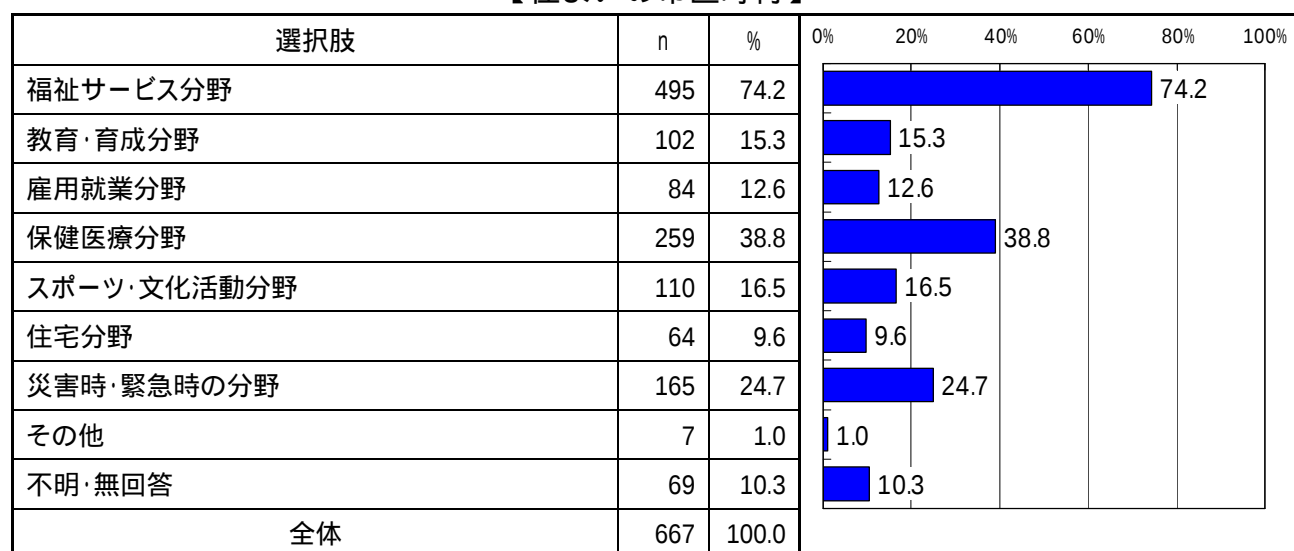
障害のある人の意見が反映されていると思う行政分野について、国では「福祉サービス分野」が 67.4% で最も多く、次いで「保健医療分野」が 41.1%、「災害時・緊急時の分野」が 17.1% となっている。

住まいの市区町村では、「福祉サービス分野」が 74.2% で最も多く、次いで「保健医療分野」が 38.8%、「災害時・緊急時の分野」が 24.7% となっている。

【国】



【住まいの市区町村】



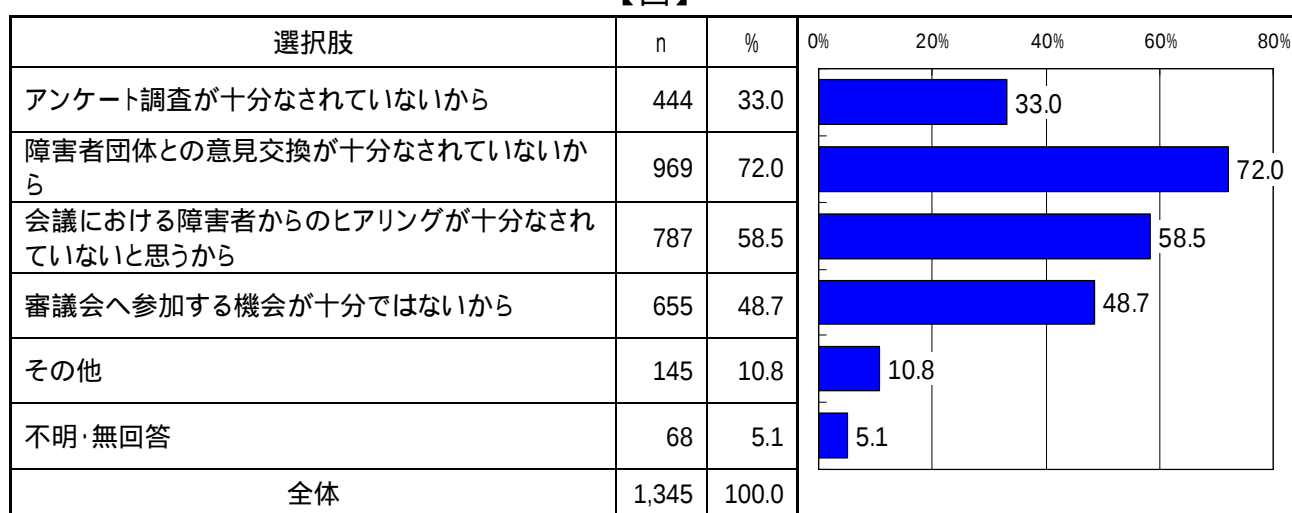
問 47、48 は、問 44 の「国」、「市区町村」の設問で、それぞれ「3. あまりされていないと思う」、「4. ほとんどなされていないと思う」と答えた人。

(4) 障害のある人の意見が反映されていないと思う理由 (MA) 【問 47】

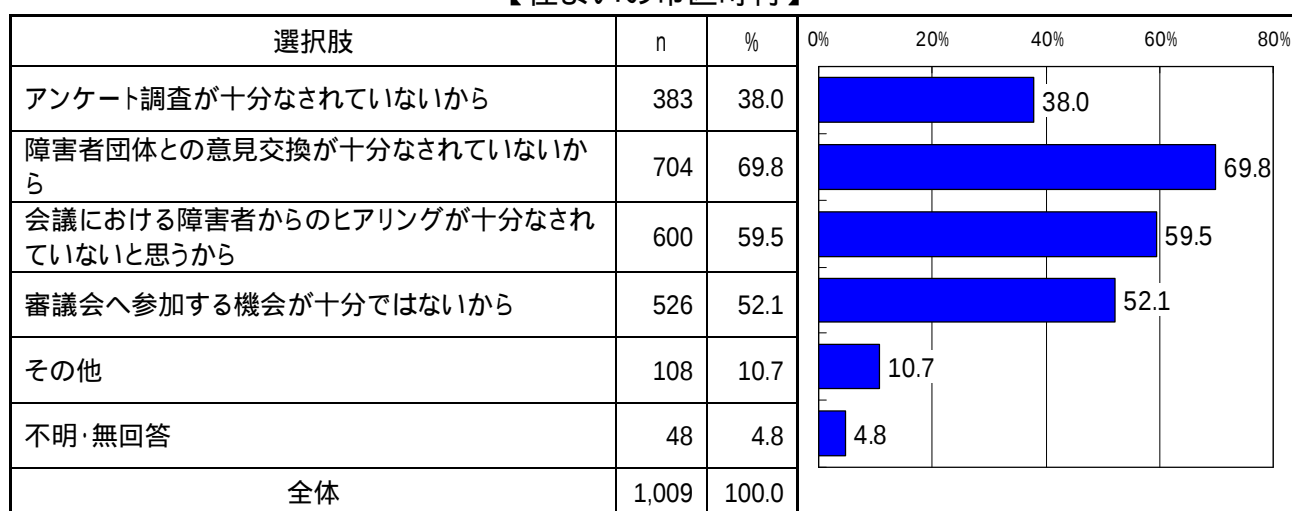
障害のある人の意見が反映されていないと思う理由について、国では「障害者団体との意見交換が十分なされていないから」が 72.0% で最も多く、次いで「会議における障害者からのヒアリングが十分なされていないと思うから」が 58.5%、「審議会へ参加する機会が十分ではないから」が 48.7% となっている。

住まいの市区町村では、「障害者団体との意見交換が十分なされていないから」が 69.8% で最も多く、次いで「会議における障害者からのヒアリングが十分なされていないと思うから」が 59.5%、「審議会へ参加する機会が十分ではないから」が 52.1% となっている。

【国】



【住まいの市区町村】

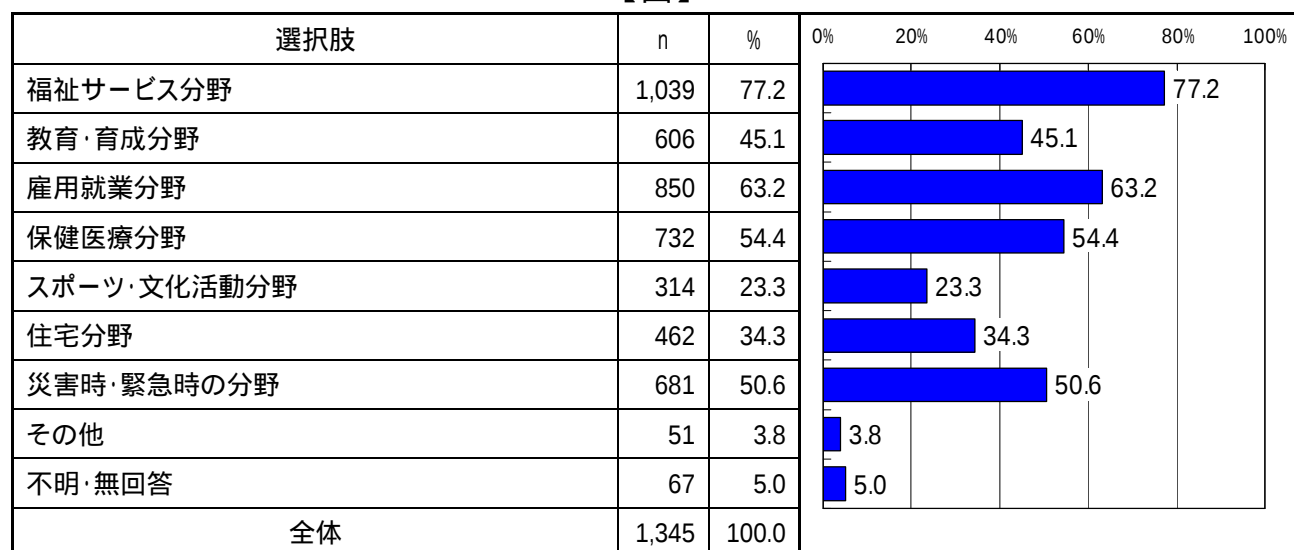


(5) 障害のある人の意見が反映されていないと思う行政分野 (M A) 【問 48】

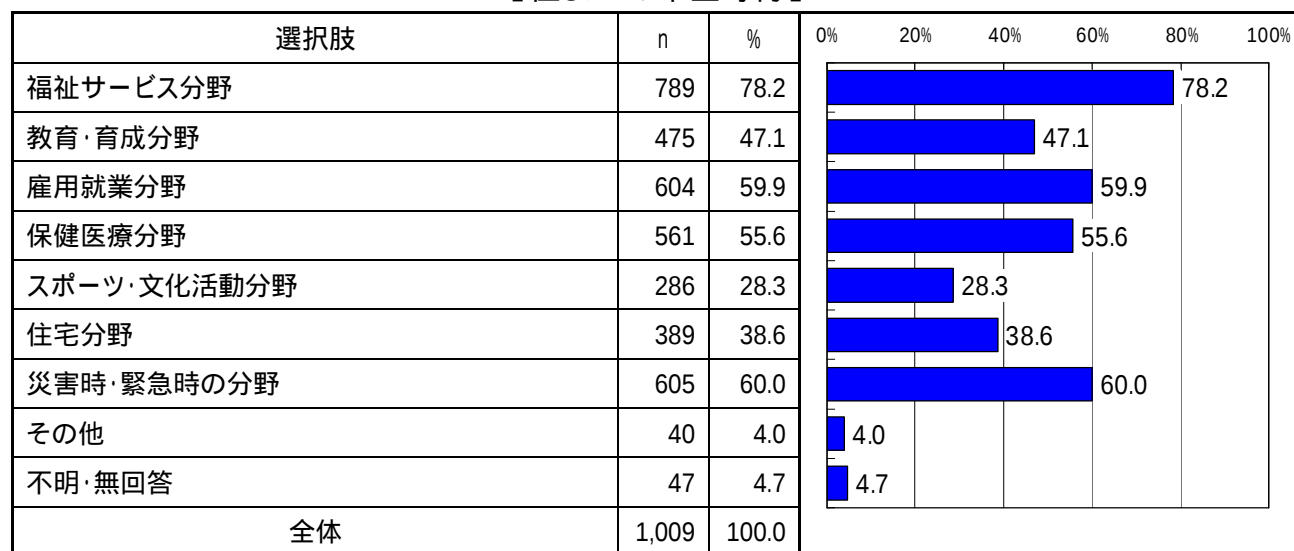
障害のある人の意見が反映されていないと思う行政分野について、国では「福祉サービス分野」が 77.2% で最も多く、次いで「雇用就業分野」が 63.2%、「保健医療分野」が 54.4% となっている。

住まいの市区町村では「福祉サービス分野」が 78.2% で最も多く、次いで「災害時・緊急時の分野」が 60.0%、「雇用就業分野」が 59.9% となっている。

【国】



【住まいの市区町村】



(6) 政策について自分の意見を持つために行動しているか (S A) 【問 49】

政策について自分の意見を持つために行動しているかを尋ねたところ、「していない」が 56.8%、「している」が 34.7%となっている。

選択肢	n	%	0%20%40%60%80%
している	741	34.7	34.7
していない	1,212	56.8	56.8
不明・無回答	182	8.5	8.5
全体	2,135	100.0	

(7) 政策に自分の意見を持つための具体的な行動 (F A) 【問 50】

政策に自分の意見を持つための具体的な行動に関する意見は延 950 件の意見が寄せられ、うち「具体的な活動内容」に関する意見が 897 件、「その他の意見」が 53 件となっている。

分類項目名	件数
具体的な活動内容	897
その他の意見	53
全体	950

【意見を持つための具体的な活動内容について】

意見を持つための具体的な活動内容をみると、本調査は全国の障害者団体を通じて行ったこともあり、「団体活動に参加している」が221件で最も多くなっている。次いで「署名運動・請願活動・要望活動」が143件、「様々な人・団体との交流・意見交換・情報交換」が112件となっている。

障害別にみると、聴覚障害や肢体不自由は「署名運動・請願活動・要望活動」、精神障害や発達障害は「様々な人・団体との交流・意見交換・情報交換」という意見が多くなっている。

【障害別 - 意見を持つための具体的な活動内容について】

	件数	署名運動・請願活動・要望活動 団体活動に参加している（団体に所属、役員をしている、団体会議に参加等）	署名運動・請願活動・要望活動	様々な人・団体との交流・意見交換・情報交換	懇話会等） 行政との意見交換、会議参加（委員会、懇話会等）	団体機関紙・新聞・インターネット等による情報の収集	講演会等に参加している	地域活動・福祉活動・ボランティア活動等への参加	理解を深める普及・啓発活動	スポーツ・文化活動に参加している	アンケートに参加している	議員活動・政治活動	パブリックコメントへの参加	その他
全体	897	221	143	112	92	90	83	37	29	13	8	7	7	55
視覚障害	116	26	10	21	18	11	10	7	3	1	1	2	3	3
聴覚障害	105	22	23	8	11	7	11	7	6	1	0	1	1	7
言語障害	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
盲ろう	11	4	2	2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0
肢体不自由	190	30	31	25	26	16	20	6	5	6	1	3	1	20
内部障害	200	69	44	15	12	17	16	7	8	2	1	0	1	8
知的障害	28	11	1	4	1	2	5	1	0	1	1	0	0	1
精神障害	103	18	8	21	8	16	12	7	1	1	0	1	0	10
発達障害	8	1	0	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
難病	43	13	8	2	6	6	2	1	2	0	0	0	1	2
その他の障害	4	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0
重複障害	73	20	15	8	6	9	5	1	3	1	2	0	0	3

意見の分類にあたり、「団体活動を通じた署名活動」や「団体を通じた交流」など、団体を通じての活動内容が具体的な場合は、「署名運動・請願活動・要望活動」などのそれぞれの項目で分類し、「団体に所属している」や「団体の役員をしている」など、団体に所属していることのみの内容は「団体活動に参加している」で集約している。

■「署名運動・請願活動・要望活動」に関する具体的な意見

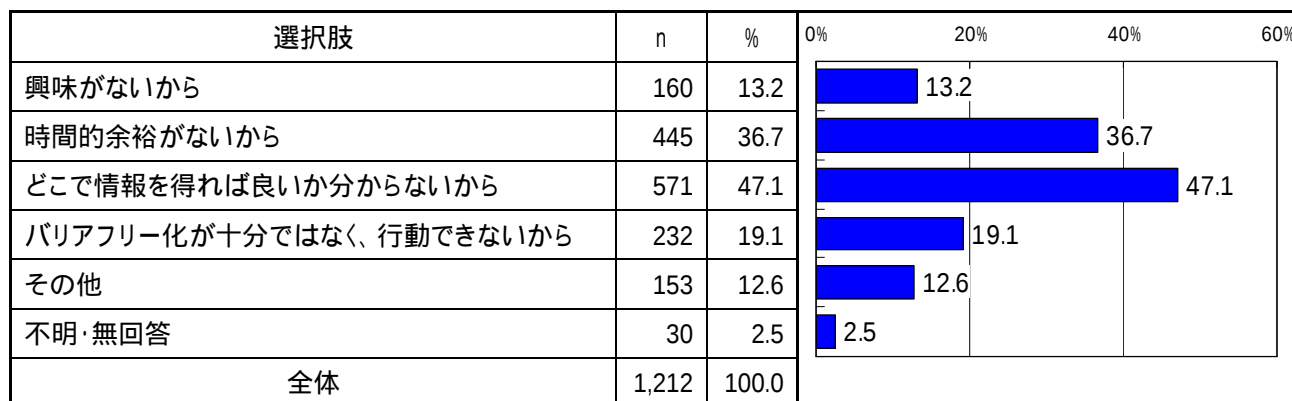
- 福祉団体を通じて陳情活動を行っている。【視覚障害、60 歳代】
- 福祉課へ足をたびたび運び、担当者にまず自分の障害がどういうもので、どんな支援が必要なのか、知ってもらえるように話ししている。必要があれば市長宛に要望書を提出している。【聴覚障害、40 歳代】
- 国や市への要望、意見交換【盲ろう、70 歳代】
- 何か困った事や不平等を感じた場面では、積極的に市と話し合いを持ち、意見を言わせてもらったり、市議や国会議員の方へ働きかけをしています。【肢体不自由、30 歳代】
- 障害者団体活動で、国会請願や市町村等への要望書の提出など。【内部障害、40 歳代】
- 行政に訴え話し合う。【知的障害、30 歳代】
- 三障害一元化を訴えます。他障害並に、精神も同等にしてほしいと要望書を提出しています。薬に頼る生活、他の病気も併発してきて、入院費、通院費がどんどん増えます。他障害並にしていけるべきです。【精神障害、30 歳代】
- 団体として、国（厚労省）、国会議員、県議会、地方市町村議会への陳情・請願活動【難病、60 歳代】
- NPO の参加で国会請願を行ったり、県や市町村の自治体と接触をもって意見交換や要望など述べている。【重複障害、50 歳代】

■「様々な人・団体との交流・意見交換・情報交換」に関する具体的な意見

- 情報を発信したり、国に話をする方と意見交換をしている。【視覚障害、20 歳代】
- 中途失聴・難聴者団体、33 団体に所属し、情報収集、勉強会への参加を行っている。また、その団体活動を通して、様々な聴覚障害者にふれあい、きこえない問題について、深く感じ取り、考える機会を多く持つようにしている。【聴覚障害、50 歳代】
- 手話カフェ、地域ふれあい喫茶へ行き、情報を得ている。【盲ろう、30 歳代】
- 障害者団体での活動をつうじて、障害者当事者が社会参加を積極的にする事を話し合っていること。物事に対して、支援をお願いして支援を受けたときは、声で「ありがとう」と感謝の気持ちをあらわすことが大切であると言っております。障害者の心のバリアフリー化が必要であります。【肢体不自由、70 歳代】
- 障害者団体の役員として、情報を集め、意見交換して、自分の意見を確立すること【内部障害、70 歳代】
- 障害者およびその家族と話し合う。【知的障害、30 歳代】
- 障害者団体に参加して学習したり意見交換している。最新の情報を得る努力をしている。【精神障害、30 歳代】
- 障害者団体などに積極的に参加して、情報を仕入れている。協力もしている。【発達障害、10 歳代】
- 医療機関や専門医との情報交換。【難病、50 歳代】
- 障害当事者団体（民間団体）で勉強会、講師を呼んでの講習会、自治体と意見交換会、政治家や政党との意見交換会を行っている。【重複障害、50 歳代】

(8) 政策について自分の意見を持つために行動していない理由 (M A) 【問 51】

政策について自分の意見を持つために行動していない理由は、「どこで情報を得れば良いかわからないから」が 47.1% で最も多く、次いで「時間的余裕がないから」が 36.7%、「バリアフリー化が十分ではなく、行動できないから」が 19.1% となっている。



(9) 電子投票に対する関心 (S A) 【問 52】

電子投票に対する関心について、「関心がある」が 39.7% で最も多く、次いで「よくわからない」が 32.1%、「関心がない」が 21.1% となっている。

